

第5章 学生の受け入れ

1. 現状の説明

(1) 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【評価の視点】

- 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針の適切な設定及び公表
- 下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針の設定
 - ・入学前の学習歴・知識水準・能力等の求める学生像
 - ・入学希望者に求める水準等の判定方法

〈1〉 大学全体

1)2017(平成29)年3月、文部科学省のガイドラインに則して、3つのポリシーを改訂し、ホームページに公表している。ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえるとともに、学力の3要素*を念頭に置き、学風、目指している人材養成、求める学生像を示した大学全体の学生の受け入れ方針(以下、アドミッション・ポリシー)を以下のとおり定めている。

※学力の3要素：①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

《アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)》

順天堂大学は、1838年、学祖佐藤泰然が江戸薬研堀に開設した西洋医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の医育機関です。学是「仁」(人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」と理念「不断前進」(現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢)に則り、「出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め、活躍の機会を与える」という学風(三無主義)を掲げ、自己研鑽・競争原理及び相互信頼のもとに高い倫理観に基づく教育、研究、臨床を実践しています。

本学は、医学、スポーツ健康科学、看護学及び国際教養学の理論と実際を教授・研究することにより、国際的な広い視野を持ち、高度の専門知識とスキルを基盤に科学及び技術の水準を高め文化の進展に寄与し、地域社会や国際社会の発展と人類福祉の向上に貢献できる人材の養成を目指しています。

学士課程では、上記のような人材養成目的を実現するため、次のような意欲と資質を有した学生を国内外より求めています。そのために多様な入試制度を用意しています。

1. 本学の学是「仁」及び理念「不断前進」を理解し、自らの持つ感性と倫理観を絶えず磨いていく意欲の高い者
2. 自ら主体的に学び、自ら積極的に取組み、解決の道を切り拓くことにより人間的成長を強く志向する熱意がある者
3. 専門知識を高め、論理的思考力と確かな技能を身につけるための基盤として、高等学校等までにおける教育課程で修得した基礎的な学力を有している者
4. ボランティア活動、課外活動などこれまでの特徴的な活動を通じて思いやり、奉仕の心、協調性を有している者
5. 幅広い人間性と柔軟性を備え、外国語を含むコミュニケーション能力を身に付けていく強い意志と意欲をもつ者

大学院では、次のような意欲と資質を有した学生を国内外より求めています。そのために、各研究科各課程において求める学生像に基づき、多様な背景を持つ志願者に対応する入試制度を用意しています。研究計画を含む出願書類の内容、学力試験、面接試験などによって、入学段階で備えているべき資質や能力、専門性を評価します。

1. 本学の学是「仁」及び理念「不断前進」を理解し、自らの持つ感性と倫理観を絶えず磨いてい

第5章 学生の受け入れ

く意欲の高い者

2. 研究者として、自ら課題を設定し、独創的な学術研究に意欲的に取り組み、学術の進展に貢献しようとする志のある者
3. 高度の専門性を発揮する職業人として、社会の発展に貢献しようとする志のある者
4. 学問に対する知的好奇心、専攻分野の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力とを兼ね備え、新たなことに挑戦しようとする強い目的意識を持っている者

2) 各学部・研究科においては、大学全体のアドミッション・ポリシーとの整合をはかるとともに、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、それぞれアドミッション・ポリシーを定め、ホームページや学生募集要項に掲載している。アドミッション・ポリシーでは、各カリキュラムを通して、本学の卒業生、終了生となり得る意欲、資質を有する学生を入学者として得るため、求める学生像、入学に際し求められる学力の水準、入学者選抜などの方針を明確にしている。また、各学部の学生募集に関するミッションを、ホームページ、学生募集要項、パンフレットに明示し、教育に対する学生・教職員それぞれの立場の責任と認識をまとめている。

(資料5-1 順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」 「修学上の情報」 「アドミッション・ポリシー」)

(資料5-2 順天堂大学総合パンフレット)

(2) 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【評価の視点】

- 学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度の適切な設定
- 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備
- 公正な入学者選抜の実施
- 入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施
・障がいのある学生の受入れ

〈1〉 大学全体

1) 本学では、アドミッション・ポリシー、入学者選抜基本方針の趣旨に基づき、各学部・研究科において学生募集及び入学者選抜を行っている。入学者については、所定の選考を行い、教授会・研究科委員会の審議を経て学長が許可・決定している。

(資料5-3 2017(平成29)年度 医学部学生募集要項)

(資料5-4 2017(平成29)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項)

(資料5-5 2017(平成29)年度 医療看護学部学生募集要項)

(資料5-6 2017(平成29)年度 保健看護学部学生募集要項)

(資料5-7 2017(平成29)年度 国際教養学部学生募集要項)

(資料5-8 2017(平成29)年度 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項)

(資料5-9 2017(平成29)年度 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項)

(資料5-10 2017(平成29)年度 大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項)

(資料5-11 2017(平成29)年度 大学院医療看護学研究科学生募集要項)

2) 大学入学者選抜と、高校・大学における学びや評価のあり方等の教育改革への取り組みに組織的に対応し、教育連携基盤を整備し、入学者選抜及び入試広報に関し、全学的な取り組み

第5章 学生の受け入れ

を図るため、アドミッションセンター（入学センター）を設置している。

- 3) 志願者の出願における利便性を高めるため、インターネット出願を導入している。志願者は入学志願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をコンビニエンスストア、銀行振込、クレジットカード等で支払うことができる。

〈2〉 医学部

- 1) 学生募集の方策として、ホームページや各種広報媒体に記事を掲載している。夏から秋にかけて、日本私立医科大学協会や予備校等が主催する進学説明会に参加し、プレゼンテーションや個別進学相談を実施している。8月にはオープンキャンパスを2日間開催しているが、非常に人気が高く、事前予約受付の開始後数時間で定員に達するほどの盛況である。

（資料5-12 2016年度 進学説明会・オープンキャンパス日程）

- 2) 学力優秀であると同時に、医師になるための適性、特に医師を志す者としての感性を兼ね備えた入学者を選抜するという事を入学者選抜方針としている。
- 3) 入学試験を適正かつ円滑に実施するため、教授会のもとに入学試験委員会を置き、入学試験制度、試験科目、試験日程等について検討している。委員は、医学部長が指名した教授会メンバー等で構成されている。
- 4) 入試方式として、(Ⅰ)一般入学試験(A方式)、(Ⅱ)一般入学試験(B方式)、(Ⅲ)センター・一般独自併用入学試験、(Ⅳ)センター利用入学試験、(Ⅴ)東京都地域枠入学試験／新潟県地域枠入学試験、(Ⅵ)国際臨床医・研究医枠入学試験を実施している。2014(平成26)年度入試(平成25年度実施)より実施の国際臨床医・研究医枠入学試験では、特別入学試験(A0入試)、国際バカロレア入学試験(A0入試)、帰国子女入学試験、外国人入学試験を実施している。

（資料5-3 2017(平成29)年度 医学部学生募集要項 P5）

- 5) 2017(平成29)年度入試より(Ⅱ)一般入学試験(B方式)[10名]を設けた。英語資格・検定試験『TOEFL(iBT, ITP, PBT), IELTS, 英検』の成績を利用できる入試方式である。志願者が出願時に提出した英語資格・検定試験成績証明書のスコアに応じて、学力試験における英語の得点に最高25点を加点している。
- 6) すべての入試方式では面接試験を課し、個人面接を約20~30分間行っている。面接試験では、受験生の医師を目指そうとする意志の強さ、本学の志望度合い、医師という職業に対する真摯な姿勢、国際社会・地域社会等に対する関心の強さ、社会全般に向ける豊かな感性等を評価している。面接試験時に、各自の特徴を示すもの(TOEFL, IELTS, TOEIC, 英検, 漢検, 各種段位, 免許書, 表彰状などの証明書, 記念品, 広報紙等)があれば、それらの持参を要請している。小論文及び面接とそれらを含めた感性・教養、医師としての適性等を重視したA0型入試を実施している。
- 7) 選考は、透明性を確保するため、合格者選考会議を置き、主として一次試験は学力試験結果、二次試験は小論文及び面接試験結果を総合的に判定している。その後、教授会において合格者及び補欠者を審議し、学長が許可した者について合格発表を行っている。
- 8) 入学試験成績優秀者を対象とした特待生制度を設け、学費を大幅に減免することで、優秀な学生を確保している。

（資料5-13 学費減免制度・奨学金制度）

- 9) 医学部では、政府の「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」等を踏まえ、地域の医師確保の観点から、文部科学省へ入学定員7名〔静岡県地域枠5名(新規)、埼玉県地域枠2

第5章 学生の受け入れ

名(追加)の増員計画を申請し、認可された。これにより、2017(平成 29)年度の医学部入学定員を 130 名から 137 名に増員し、地域枠は、東京都枠 10 名、新潟県枠 2 名、千葉県枠 4 名、埼玉県枠 5 名、静岡県枠 5 名の計 26 名となった(研究医養成枠は 6 名)。入学定員増に伴う医学部の入学定員数の推移は次のとおりである。

年度	入学定員	年度	入学定員
2008(平成 20)年度	90 名	2013(平成 25)年度	124 名
2009(平成 21)年度	110 名	2014(平成 26)年度	124 名
2010(平成 22)年度	119 名	2015(平成 27)年度	127 名
2011(平成 23)年度	120 名	2016(平成 28)年度	130 名
2012(平成 24)年度	121 名	2017(平成 29)年度	137 名

- 10) 2017(平成 29) 年度入試は、前年度と比較して志願者が増加した。一般入学試験 B 方式の実施および定員増等がその要因であると考えられる。過去 5 年間の志願者数は 4,000 人超えを維持していることから人気の高さを確認できる。
- 11) 2017(平成 29) 年度入試において、障がいのある志願者より受験・入学に関する相談の申し出はなかったが、過去の事例として、車椅子による受験の相談があった場合にはエレベーターで会場を移動できるように配慮し、身体上の都合でトイレに近い受験座席を希望する旨の相談があった場合には、トイレに近い受験座席を確保するなど、志願者にとって不利益が生じないように、その都度適切に対応している。
- 12) 身体に障がい・疾病等により、受験及び入学後の学生生活に配慮を必要とする場合は、出願前に相談を受け付けている。

(資料 5-3 2017(平成 29)年度 医学部学生募集要項 P30)

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 学生募集の媒体として、学部パンフレット、募集要項及び入試ガイドを毎年作成し、学生受け入れ方針を判り易く伝えられるよう努めている。募集活動手段としては、学部ホームページや複数の進学サイトへの記事掲載の他、高校生や保護者と直に触れ合える機会を重んじ、企業が企画する進路相談会、高校・予備校で開催される進学ガイダンス等へ延べ 100 日以上の参加を継続している。オープンキャンパスの実施回数も、2014(平成 26)年度は 8 回、2015(平成 27)年度は 10 回、2016(平成 28)年度は 11 回実施した。

(資料 5-14 広報・学生募集活動状況)

- 2) アドミッション・ポリシー及び入学者選抜基本方針に則り、学力に加えて人間性・資質・意欲を兼ね備えた入学者の選考を行っている。教授会のもとに入学試験委員会を設置し、入試科目・日程等について決定している。入学試験委員会の委員は、入学試験委員会規程に基づく委員のほか、学部長が指名したメンバーで構成されている。

(資料 5-15 順天堂大学スポーツ健康科学部入学試験委員会規程)

(資料 5-16 平成 28 年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧)

- 3) 入学試験は、AO 入学試験【(Ⅰ)一般選抜(Ⅱ)教員志望選抜、(Ⅲ)トップアスリート選抜】、推薦入学試験【(Ⅳ)一般推薦、(Ⅴ)スポーツ推薦】、一般入学試験【(Ⅵ)センター利用方式、(Ⅶ)独自方式(一般入試、英語外部試験利用)】を実施している。

(資料 5-4 2017(平成 29)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項 P4)

- 4) 各入試の合否判定においては入試委員会と教授会を経ることで透明性を確保している。

- 5) 過去4年間の入学志願者数は募集定員330名に対して、2013(平成25)年度は4,243名、2014(平成26)年度は3,566名、2015(平成27)年度は3,629名、2016(平成28)年度は3,964名であり、2017(平成29)年度の入学志願者数は募集定員410名(80名の定員増)に対して、4,174名であった。過去の入学志願者数等のデータに基づく積極的な学生募集広報活動の成果もあり、多くの志願者を獲得できている。
- 6) 障害等のある入学志願者について、可能な限り受け入れるという方針であり、受験や修学、寮生活で特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち相談に応じている。
(資料5-4 2017(平成29)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項 P2)

〈4〉 医療看護学部

- 1) 全国各地で行われる進学相談会や7月、8月に開催されるオープンキャンパス、9月に開催される学内進学相談会等にて、学部説明、模擬講義、個別相談を行い、受験生の本学部への関心を深めている。また、学部案内パンフレット、募集要項の内容は、ホームページ上のデジタルパンフレットで閲覧できるようにしている。
- 2) 選抜方法は推薦入試、帰国生入試、一般入試及び大学入試センター試験利用の選考方法で行っており、多くの受験生に受験機会を提供している。全ての選抜に面接を課し、看護専門職としての資質、適性、強い意志や自ら学ぼうとする姿勢等を評価しているのが特徴的である。各入試の合否判定においては、判定委員会と教授会を経ることで透明性を確保している。年度による増減はあるが、直近5年間の入学志願者数は約1,800~2,000名で推移している。志願倍率は10倍を超える年度もあり毎年高倍率で推移している。
(資料5-5 2017(平成29)年度 医療看護学部学生募集要項)

- 3) 推薦入試では、将来看護職につく強い意志を持ち、本学を第一志望とする者を対象とし、評定平均値が3.8以上で学校長の推薦を得ることとしている。試験科目は小論文と面接である。面接試験時には、自己PR資料(英検や漢検の成績証明書、スポーツ大会、コンクールなど学内外で受けた表彰状、トロフィー、楯他)を持参して、これまでの人生で達成したこと、誇りとしていること等を発表してもらい、調査書を含め総合的に判定している。
- 4) 帰国生入試では、日本国籍又は日本国の永住許可を有し、海外で2年以上の就学経験がある本学を第一志望とする者を対象としている。試験は小論文と面接(いずれも日本語)であり、面接では自己PR資料、外国語検定試験の結果証明書や調査書等を含め総合的に判定している。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 学生募集は、広報委員会が中心となり全教職員による募集活動が展開されている。具体的には、①高校訪問(静岡・山梨・長野・神奈川西部・東京・群馬・宮城・三重)、②高等学校進路担当者への説明会(県内中心)、③ホームページでの大学紹介、④オープンキャンパスの実施、⑤学生募集パンフレットの高校等への配布、⑥大学見学者への受験相談、⑦新聞、雑誌等への広告、⑧高校・予備校等の進学説明会への参加、⑨企業主催の進学説明会への参加、⑩受験雑誌等の各種アンケートへの回答などである。また、オープンキャンパスにおいては、実習基幹病院である医学部附属静岡病院の見学や予備校による講座も行われている。
- 2) 入学試験は、入学試験実施要領に基づき行っている。多様な人材を受け入れるために、一般入試(学科試験・面接試験)、指定校・公募推薦入試(小論文試験・面接試験)、特別選抜入試/AO型選抜・帰国生選抜(授業レポート・面接試験)、入試センター試験利用入試(学科試験・

第5章 学生の受け入れ

面接試験)、センター試験・独自試験併用入試(学科試験・面接試験)による入学試験を実施している。

(資料5-6 2017(平成29)年度 保健看護学部学生募集要項)

- 3) 合格候補者の選考は、透明性を確保するため、一次試験・二次試験ともに、入試選考委員会及び教授会で、選考基準に照らした審議を基に決定し、審議結果を学長に報告し、学長が合格者を決定している。教授会の選考資料は、一次試験・二次試験ともに、匿名性を確保している。学力試験成績算出では出題担当者によるチェックを行い、面接試験では複数教員による面接を実施している。
- 4) 開学から過去7年間の志願者合計は増加傾向にあり、過去7年間で339名から686名に増加している。推薦入試志願者の9割は県内出身者、一般入試は県内・県外の割合は約2対1となっている。

〈6〉 国際教養学部

- 1) 学生募集にあたっては、ホームページ上及び各種広報媒体へ情報を掲載し、本学部の受け入れ方針に関する理解を深めてもらえるように努めた。また、首都圏を中心に各地で開催される進学説明会へ参加し、6～9月及び3月に入試対策特別相談会・オープンキャンパスを計6回開催した。

(資料5-17 平成28年度 進学説明会・説明会案内)

(資料5-18 平成28年度 国際教養学部オープンキャンパス・学部説明会①)

(資料5-19 平成28年度 国際教養学部オープンキャンパス・学部説明会②)

- 2) 2015(平成27)年度入学試験(平成26年度実施)は、一般入学試験(筆記試験)、特別入学試験(筆記試験・面接試験)を実施した。特別入学試験は、A0入試に加え、帰国子女及び外国人を対象とした入学試験、国際バカロレア資格を対象とした国際バカロレア入学試験の方式で行った。2016(平成28)年度入学試験(平成27年度実施)では、加えて、推薦入学試験(指定校/公募制)、自己推薦型特別入学試験及びセンター試験利用入学試験を実施した。2017(平成29)年度入学試験(平成28年度実施)では、自己推薦型特別入学試験を廃止して、「外部検定試験」において本学部の「指定スコア」以上を取得した学生を対象とした特別入学試験(グローバル方式)を実施した。多様な背景をもった学生を積極的に受け入れる体制となっている。

(資料5-20 2015(平成27)年度 国際教養学部学生募集要項)

(資料5-21 2016(平成28)年度 国際教養学部学生募集要項)

(資料5-7 2017(平成29)年度 国際教養学部学生募集要項)

- 3) 推薦入学試験及び特別入学試験で実施される面接試験では、受験生の感性や人物・識見・教養などを見極めるための評価を行っており、各自の特徴を示すもの(小・中・高等学校の通知簿、賞状、表彰状、免許・資格・外部検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、IELTS、GTEC、漢検など)・外国の大学入学資格(国際バカロレア[IB]、アビトゥア、バカロレアなど)・外国の大学進学適性試験(SAT、ACT、GCEなど)の成績証明書、柔剣道・茶道・華道などの段位等証明書、トロフィー、掲載紙(誌)など)があれば、そのコピーや写真の持参を要請している。
- 4) 各入試の合否判定においては、入試選考委員会と教授会を経ることで透明性を確保している。
- 5) 優秀な学生を確保するため、入学試験の成績優秀者を対象に、学費を減免する制度を設けている。
- 6) 過去3年間(2015～2017年度入試)の入学志願者の推移について、方式では一般入学試験出願

数が一番多く、男女比では女性の比率が高い。出願者数は500名前後で推移している。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 学生募集にあたっては、ホームページでの大学院紹介、進学説明会の実施、大学院見学者への受験相談などを実施している。
- 2) 医科学専攻(修士課程)及び医学専攻(博士課程)の入学選抜方法は、一般入試(外国人入試を含む)、社会人入試及び外国在住外国人入試の3種類である。一般入試及び社会人入試は、学力試験と口述試験を実施している。
- 3) 外国在住外国人入試は、国際化を目指す上で積極的に外国人留学生を受け入れる目的で行っている。受験のためだけに来日することなく書類選考による特別入学試験制度であり、国際交流センターを窓口として提出される推薦書、小論文、業績目録等に基づき、医学研究科委員会による審議を受け、入学の可否を決定している。
- 4) 2016(平成28)年度入試より、外国人(特別永住者除く)の受験資格について、各課程ともに日本語能力試験N5以上(旧試験においては4級以上)の合格者であることが望ましいとし、出願時点での日本語能力試験の合格実績は必ずしも要件とせず、国際化を目指す上で積極的に外国人留学生を受け入れることとした。なお、日本語講座を日本語能力のレベルに合わせて複数開講しており、入学後に日本語修得の機会を提供している。

(資料5-8 2017(平成29)年度 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項)

(資料5-9 2017(平成29)年度 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項)

- 5) 入学試験において課せられている外国語試験について、毎年5回実施している定期語学試験に合格している場合や TOEFL・IELTS 等の外部試験の成績が基準を満たしている場合には免除している。定期語学試験合格実績による入学試験における外国語試験免除について、従来は医学専攻(博士課程)のみとしていたが、2016(平成28)年度入試より、医科学専攻(修士課程)にも導入した。なお、定期語学試験受験資格は、①本学で臨床研修中の者、②本学教職員、③本学専攻生・研究生・外国人研究生・協力研究員等、④本学医学部5年生以上の学生としている。
 - 6) 社会人学生の受け入れについて、医科学専攻(修士課程)においては、昼夜開講制を採用しており、平日勤務終了後の夜間等に講義に出席することで単位を修得することを可能としている。また、医学専攻(博士課程)においても、VOD 講義等の受講による単位認定が積極的に行われるほか、各研究分野において各自のバックグラウンドに応じた個別の教育プログラムが設定されるなど、積極的に社会人学生を受け入れている。また、国立がん研究センター、国立国際医療研究センター及び国立病院機構相模原病院については、連携大学院制度により各機関に籍を置きながら、社会人学生として本学大学院の単位を修得可能とし、各機関で行った研究の成果をもって学位の取得が可能となっている。
- (資料5-22 大学院医学研究科博士課程連携大学院)
- 7) 合格者の選考は、透明性を確保するため、口述試験を指導予定教員以外の複数の面接官により実施するとともに、大学院検討委員会及び医学研究科委員会における選考基準に照らした審議を経て、学長が決定している。
 - 8) 医科学専攻(修士課程)における過去5年の入学志願者数の推移については設置から4年間は入学定員に対して約1.5倍程度の数であったが、2017(平成29)年度入試において2.3倍(46名)と大幅に増加した。また、医学専攻(博士課程)の入学志願者も増加傾向にあり、2013(平

第5章 学生の受け入れ

成 25)年度から 120 名、2016(平成 28)年度から 140 名に入学定員を増やしている。

〈8〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 内部進学者向けに進学説明会・在学生による大学院生活紹介、保護者懇談会において保護者への説明・学生募集要項配布、関係大学への学生募集要項送付、地元広報紙への掲載等を行っている。
- 2) 博士前期課程は A0 選抜 1 回(8-9 月・期間中随時)、一般選抜 3 回(11 月・12 月・2 月)の年 4 回、博士後期課程は年 3 回(11 月・12 月・2 月)入学者選抜試験を行っている。
- 3) 博士前期課程、A0 選抜の選抜方法は、入学願書、課題小論文(本学大学院で研究したいこと)等の所定の出願書類及び面接試験を総合して評価している。ただし、出願までに希望指導教員と複数回の面談を行い、希望指導教員が出願を了承していることを必須としている。一般試験の選抜方法は、面接試験(20 分程度の口述試験)、出願書類等を総合して評価している。博士後期課程の選抜方法は、筆答試験(英語)、面接試験、出願書類等を総合して評価している。
- 4) 博士後期課程入試においては、2011(平成 23)年度より、筆答試験(英語)の免除基準を設けており、入試年度から 3 年以内のスコアで「TOEIC 550 点以上」又は「TOEFL iBT 61 点以上」としている。
- 5) 入学者の選抜については、研究科委員会における公正な審議を経て、学長が決定している。
- 6) 過去 5 年間の入学志願者数は博士前期課程定員 61 名に対して、2013(平成 25)年度は 60 名、2014(平成 26)年度は 61 名、2015(平成 27)年度は 62 名、2016(平成 28)年度は 58 名、2017(平成 29)年度 73 名であった。博士後期課程定員 10 名に対して、2013(平成 25)年度は 10 名、2014(平成 26)年度は 15 名、2015(平成 27)年度は 13 名、2016(平成 28)年度は 16 名、2017(平成 29)年度 14 名であった。過去の入学志願者数等のデータに基づく積極的な学生募集広報活動の成果もあり、多くの志願者を獲得できている。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 本研究科での学生募集は、ホームページやパンフレットによって行い、7 月には説明会を開催している。入学者選抜は、A 日程と B 日程の年 2 回行っている。なお博士前期課程では選抜方法として一般選抜、社会人選抜を取り入れている。
- 2) 博士前期課程の選抜方法は、研究科委員会において審議し、試験日程や内容を決定している。試験は、専門科目及び英語(一般)又は小論文(社会人)並びに面接を実施している。専門科目は、研究指導可能な専門領域の中から、自らが進学を希望する科目とそれ以外の科目の 2 科目を選択して受験することとしている。
- 3) 博士後期課程の選抜方法は、研究科委員会において審議し、試験日程や内容を決定している。試験は、英語の筆記試験と口述試験を実施している。
- 4) 入学者の選抜については、研究科委員会の合否判定会議での審議を経て、学長が決定している。
- 5) 博士前期課程では定員 15 名に対して過去 5 年間の志願者は増加傾向であり、学修意欲の高い学生の選抜が出来ている。過去 3 年において入学者は全て社会人学生である。
- 6) 博士後期課程では定員 7 名を上回る志願者が確保できている。

第5章 学生の受け入れ

(3) 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

【評価の視点】

○入学定員及び収容定員の適切な管理

<学士課程>

- ・入学定員に対する入学者数比率
- ・収容定員に対する在籍学生数比率
- ・収容定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応

<修士・博士>

- ・収容定員に対する在籍学生数比率

<1> 大学全体

1) 設定している入学定員を遵守すべく、正確な定着予測に努めており、全学的に適正な管理が出来ている。2016（平成28）年度の入学定員に対する入学者数比率（5年間平均）及び収容定員に対する在籍学生数比率は下記のとおりである。

	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	収容定員に対する在籍学生数比率
学士課程	1.01	1.01
修士課程	1.01	1.09
博士課程	1.13	1.07

<2> 医学部

1) 本学部の入学定員は、定員増を行っていることから、下記のとおり推移している。過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均は1.01、収容定員に対する在籍学生数比率は1.01である。収容定員に対する在籍学生数比率について、各学年の入学定員に対する在籍学生数及び比率は下表の通りである。

学年	2014(平成26)年度			2015(平成27)年度			2016(平成28)年度		
	入学定員	在籍学生数	在籍学生比率	入学定員	在籍学生数	在籍学生比率	入学定員	在籍学生数	在籍学生比率
1年	124	128	1.03	127	127	1.00	130	131	1.00
2年	124	127	1.02	124	133	1.07	127	127	1.00
3年	121	121	1.00	124	122	0.98	124	133	1.07
4年	120	124	1.03	121	124	1.02	124	122	0.98
5年	119	107	0.90	120	121	1.01	121	123	1.02
6年	110	116	1.05	119	111	0.93	120	124	1.03
合計	718	723	1.01	735	738	1.00	746	760	1.02

2) 本学部では卒業延期者・留年者数が少なく、下表のとおり多くの学生が修業年限で卒業をしている。

学年	2014(平成26)年度			2015(平成27)年度			2016(平成28)年度		
	平成21年度入学者数	修業年限卒業者数	卒業年限卒業率	平成22年度入学者数	修業年限卒業者数	卒業年限卒業率	平成23年度入学者数	修業年限卒業者数	卒業年限卒業率
6年	117	108	92.3	107	102	95.3	123	117	95.1

第5章 学生の受け入れ

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 本学部の入学定員は、410名(収容定員1,400名)であり、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均は1.00、収容定員に対する在籍学生数比率は1.00である。入学定員を遵守している。
- 2) 本学部では2年次及び3年次への編入学を実施しているが、その募集定員は各学年定員の欠員人数内であり、総定員を超過することはない。
- 3) 2016(平成28)年度の留年(4年次のみ卒業保留扱い)は0.9%、退学は0.4%と非常に低い。下表のとおり多くの学生が修業年限で卒業している。

学年	2014(平成26)年度			2015(平成27)年度			2016(平成28)年度		
	平成23年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成24年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成24年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率
4年	330	319	96.7	331	322	97.3	332	329	99.1

〈4〉 医療看護学部

- 1) 本学部の入学定員は、200名(収容定員800名)であり、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均は1.01、収容定員に対する在籍学生数比率は1.00である。入学定員を遵守している。
- 2) 2016(平成28)年度の在籍学生比率は、1.0038(在籍学生数803名/収容定員800名)、学部全体の収容定員に対する在籍学生数比率は1%以内であり、学部として適正な状態と言える。下表のとおり、修業年限内に卒業できない者は、入学者のうち3%未満であり、退学者には進路変更、体調不良等が含まれている。

学年	2014(平成26)年度			2015(平成27)年度			2016(平成28)年度		
	平成23年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成24年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成25年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率
4年	200	197	98.5	200	194	97.0	203	199	98.0

〈5〉 保健看護学部

- 1) 本学部の入学定員は、120名(収容定員480名)であり、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均は1.03、収容定員に対する在籍学生数比率は1.03である。入学定員を遵守している。
- 2) 収容定員は480名であり、2016(平成28)年度の在籍学生数は492名で、毎年の入学定員を遵守した結果、著しい定員の超過は認められない。2016(平成28)年度(第4回生)の卒業は、在籍数119名に対して卒業119名であり、卒業保留の留年者は無かった。修業年限卒業率は下表のとおりである。

学年	2014(平成26)年度			2015(平成27)年度			2016(平成28)年度		
	平成23年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成24年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率	平成25年度 入学者数	修業年限 卒業生数	卒業年限 卒業率
4年	122	118	96.7	121	117	96.7	123	119	96.7

〈6〉 国際教養学部

- 1) 本学部の2016(平成28)年度の入学者数は、入学定員120名(収容定員120名)に対し123名(在籍学生比率1.03)であり、入学定員を遵守している。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 医科学専攻(修士課程)の入学定員は、2013(平成25)年度設置時より20名である。医学専攻(博士課程)の入学定員は、2010(平成22)年度から2012(平成24)年度までは100名、2013(平成25)年度から2015(平成27)年度までは120名、2016(平成28)年度より140名に増員している。
- 2) 医科学専攻(修士課程)について、2016(平成28)年度の在籍学生数比率は1.28である。また、医学専攻(博士課程)の同比率は1.04である。入学定員に対する入学者数比率(5年間平均、修士課程は3年間平均)では、修士課程1.23、博士課程1.13である。

〈8〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 博士前期課程の入学定員は61名、博士後期課程の入学定員は10名である。
- 2) 前期課程について、2016(平成28)年度の在籍学生数比率は0.94である。また、後期課程の同比率は1.37である。入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)では、前期課程0.88、後期課程1.16である。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 博士前期課程の入学定員は15名、博士後期課程の入学定員は7名である。2016(平成28)年度の前期課程の在籍学生数比率は1.43である。また、後期課程の同比率は1.33である。入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)では、前期課程1.27、後期課程1.38である。

(4) 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。

【評価の視点】

○適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価

〈1〉 大学全体

- 1) 毎年、大学運営連絡協議会において、オープンキャンパス、入試戦略と学生確保の見直しについて、各学部からの報告に基づき検証を行っている。
(資料5-23 大学運営連絡協議会議案シート(平成28年7月12日))

〈2〉 医学部

- 1) 毎年4月、アドミッション・ポリシーに基づき、入試方式、募集人員、試験科目・配点、実施方法等について、医学部長を中心とした入試委員会にて検証している。検証された内容は、教授会において、医学部長より報告を行っている。
(資料5-24 医学部入試委員会議事録(平成28年4月26日))

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 毎年3月、入試運営委員会が、各試験方式について反省事項をとりまとめ、上位委員会である入試委員会に報告し、改善点を検討している。結果を踏まえ、入試運営委員会が、次年度入学者選抜方法案を作成し、アドミッション・ポリシーに基づき、入試委員会及び教授会において審議している。A0特別選抜入学者については、入試委員会が学生寮・クラブ活動等においてリーダーとなっているかという観点で検証を行い、トップアスリート選抜・スポーツ推薦入学者については、運動部運営委員会がクラブ活動の戦績と学業成績を調査し、次年度以降の入試制度を検討する資料としている。
(資料5-25 スポーツ健康科学部 入試委員会議事録(平成28年6月8日))

〈4〉 医療看護学部

- 1) 毎年5月、アドミッション・ポリシーに基づき、募集方式、募集人員、科目、配点、日程、

第5章 学生の受け入れ

会場等について、学部長を中心とした入試委員会にて検証している。検証された内容は、教授会において、学部長より報告を行っている。

(資料5-26 第1回 平成28年度入試委員会議事録)

<5> 保健看護学部

1)4月～5月に初回、その後も不定期に入試委員会を開催し、アドミッション・ポリシーに基づき、選抜方式・各募集定員・出題科目・配点等について検討している。検討した内容は、教授会にて検証している。また、在学生の定期試験成績を、入試種別ごとに検証しており、次年度以降の入試制度を検討する資料としている。

(資料5-27 保健看護学部 第1回 入試委員会記録(平成28年5月2日))

(資料5-28 保健看護学部 第2回 入試委員会記録(平成28年5月17日))

<6> 国際教養学部

1)毎年、アドミッション・ポリシーに基づき、募集方式、募集人員、科目等について、入試委員会にて検討を行っている。また、入試問題の分析のほか、在学生については、入学直後に実施したTOEFL ITPの結果について、入試種別との関係を検証し、翌年度の入試問題を作成する際の参考材料とした。

(資料5-29 国際教養学部入試委員会議事録(平成28年5月))

<7> 大学院医学研究科

1)アドミッション・ポリシーに基づき、募集方式、募集人員、科目、配点等について、大学院検討委員会(教育小委員会)及び医学研究科委員会にて検討・検証を行っている。

(資料5-30 大学院医学研究科委員会議事録(平成28年5月))

<8> 大学院スポーツ健康科学研究科

1)アドミッション・ポリシーに基づき、募集方式、募集時期、面接基準等について、大学院研究科委員会にて定期的に検証している。

(資料5-31 スポーツ健康科学研究科 入試委員会議事録(平成28年7月8日))

<9> 大学院医療看護学研究科

1)アドミッション・ポリシーに基づき、募集方式、募集人員、科目、配点、日程、会場等について、研究科委員会にて定期的に検証している。

(資料5-32 医療看護学研究科委員会議事録(平成28年4月))

2. 点検・評価

[基準5]

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、学生の受け入れ方針を定め、公表するとともに、その方針に沿って学生の受け入れを公正に行わなければならない。

●基準5の充足状況

アドミッション・ポリシーは大学のホームページにて明示し、積極的な広報活動を展開している。学部においては、オープンキャンパスや進学説明会にて教育内容、キャンパスライフ等の説明を行い、個別相談にも応じている。大学院研究科においては、希望する研究指導教員との研究内容の確認を行うなど、入学後のミスマッチが起きないように取り組んでいる。学生募集及び入学者選抜について、大学としては大学運営連絡協議会、各学部では教授会や入試委員会等、各研究科では研究科委員会にて定期的に検証している。以上のことから、基準を満たしている。

①効果があがっている事項

〈1〉 大学全体

- 1)5 学部・3 研究科においてアドミッション・ポリシーを学生募集要項やホームページに明示し、多彩な方式で入学試験を行っている。本学の特徴は、多くの入試方式において面接試験を課していることである。志望理由と学修意欲等を聞き、本学へ入学する目的意識を確認している。退学者が少ないことから、選考方法が適切に運用されていると言える。

学部計 (単位：人、%)

年度	入学者数	退学者数	退学率
2014(平成 26)年度	784	15	1.91
2015(平成 27)年度	909	21	2.31
2016(平成 28)年度	909	17	1.87

研究科計 (単位：人、%)

年度	入学者数	退学者数	退学率
2014(平成 26)年度	244	7	2.87
2015(平成 27)年度	273	12	4.40
2016(平成 28)年度	266	11	4.14

- 2) 大学入試センター試験を利用した選抜方式や、TOEFL、IELTS を利用した選抜方式、地方受験制度を導入するなど、入学志願者のニーズに対応し、受験方式の多様化を図り、志願者数を確保できている。

〈2〉 医学部

- 1) 社会に求められる医師を養成するため、毎年入試制度の見直しを実施している。2014(平成 26)年度より、国際社会に幅広く活躍する医師を養成するため、国際臨床医・研究医枠入学試験を実施している。国際臨床医・研究医枠入学試験は、実施初年度より志願者数が着実に伸びている。2017(平成 29)年度より実施した一般入学試験(B方式)は、TOEFL・IELTS・英検といった外部英語資格・検定試験の成績を活用し、志願者増加の一因となった。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 入試制度を毎年見直し、充実を図っている。2016(平成 28)年度より、インターネットによる出願受付を開始した。また、推薦入試において、一般推薦・スポーツ推薦(セット出願)を設けたことから、志願者数の増加につながっている。2017(平成 29)年度より、A0 入学試験に一般選抜の他、教員志望選抜を設け、将来、教職に就き、教育界で活躍できる人材を求めた。また、一般入試では、定員を 80 名増員し 410 名としたが、英語外部試験を利用し語学力の高い人材を求めるなど、学生の質を担保する試験を実施した。

(資料 5-33 スポーツ健康科学部入学試験 志願者情報)

〈4〉 医療看護学部

- 1) ホームページの更新、進学説明会、高等学校での模擬講義、オープンキャンパスを通して、受験生へ説明する機会を増やし、学校見学は随時受け付けを実施することで志願者数の増加を図っている。登録者にはメールマガジンで情報を発信している。
- 2) 2017(平成 29)年度入試(2016(平成 28)年度実施)においては、新たに帰国生入試を設けたほ

第5章 学生の受け入れ

か、センター利用入試を前期、後期に分けて実施している。複数の入試方式により、志願者の受験機会の提供を促進するとともに、多様な学生の受入による学部教育の活性化を図っている。

〈5〉 保健看護学部

1) 2010(平成22)年4月の開学以降、志願者数は増加傾向にあり、学生募集活動の効果が現れている(2010年度:339人、2011年度:529人、2012年度501人、2013年度582人、2014年度:545人、2015年度:587人、2016年度:604人、2017年度:686人)。Web上からの出願を可能にしたことで出願者への利便性を計ることができた。

〈6〉 国際教養学部

1) ホームページ、進学説明会、オープンキャンパスなどを通し、受験生に本学部に関する理解を深める機会を設けている。本学部は新設学部であるが、2015(平成27)年度、2016(平成28)年度及び2017(平成29)年度の入学志願者数は、入学定員120名に対しそれぞれ468名、548名、463名を確保した。

(資料5-34 平成27・28年度 入試結果)

(資料5-35 平成27年度 国際教養学部広報実績)

〈7〉 大学院医学研究科

1) 学生募集要項やホームページにて、アドミッション・ポリシーを広報することにより、本学の基本理念及び求める学生像を理解した上で出願することを促している。また、受験に際し、希望する研究指導教員と研究内容について確認した上で出願すること、更に、受験時に本学へ入学する目的意識を確認するため受験生に口述試験を課すことにより、入学後にミスマッチが起きないようにしている。

2) 2016(平成28)年度において、医科学専攻(修士課程)及び医学専攻(博士課程)のいずれも定員を上回る入学者数となり、大学院生の受け入れに関する取り組みが有効に機能している。

3) 昼夜開講制やVOD講義等、社会人学生に対する様々な就学支援を実施していることに加え、国立がん研究センター、国立国際医療研究センター及び国立病院機構相模原病院との連携大学院制度により、多くの社会人学生を受け入れることが可能となっている。

4) 2016(平成28)年度より、英語による講義については、従来の14講義(基礎系7、臨床系7)から25講義(基礎系7、臨床系18)に増加させた。また、試験的に開講していた日本語集中プログラムについては、3つの日本語集中プログラムとしてカリキュラムに組み込み、日本語教育の充実を図ることにより、大学院の国際化、外国人留学生の学びやすい環境を整えている。

5) 2016(平成28)年度における外国人留学生の在籍者数は、医科学専攻(修士課程)3名、医学専攻(博士課程)24名となっており、国際化を目指す上で外国人入試等の外国人留学生の受け入れに関する取り組みが有効に機能している。

6) 医学研究科の更なる研究力向上・研究基盤の強化を図り、卒前・卒後一貫した教育プログラム構築を推進するため、また、近年の入学者数増加の実態に対応するため、2016(平成28)年度の医学専攻(博士課程)の入学定員を120名から140名に増員した。

7) 外国人(特別永住者除く)の受験資格について、医科学専攻(修士課程)は日本語能力試験(JLPT)N4以上(旧試験においては3級以上)、医学専攻(博士課程)はN3以上(旧試験においては2級以上)の合格者としていたが、更なる国際化を目指す上で、2016(平成28)年度より、

第5章 学生の受け入れ

受験資格を各課程ともに N5 以上(旧試験においては 4 級以上)の合格者であることとし、国際化を目指す上で積極的に外国人留学生を受け入れている。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

- 1) ホームページの充実を図り、情報発信をしている。また、夏期に説明会を開催してカリキュラムの説明に加え、個々の相談に対応することで志願者の理解を深めている。博士前期課程・博士後期課程ともに出願前に希望する研究指導教員と研究内容について確認を行い、入学後にミスマッチが起きないようにしている。

②改善すべき事項

〈2〉 医学部

- 1) 国際臨床医・研究医枠入学試験の志願者が伸びたことに伴い、帰国子女や外国人の志願者より出願資格に関する相談が増えた。帰国子女や外国人の志願者は様々な経歴や背景を持っているため、学生募集要項の出願資格を明確に記載する必要がある。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 受験生にとって出願利便性が高く、より優秀な学生を集めることができる出願方法を検討する必要がある。

〈6〉 国際教養学部

- 1) 2016(平成 28)年度の入学者は 123 名の学生のうち、外国人留学生は 2 名であった。より多くの外国人留学生を受け入れるため、広報手段を常に検討していく必要である。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 国際化を目指していく上で、外国人留学生を更に受け入れるため、継続的に広報活動を見直し積極的な情報発信を行う必要がある。

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

〈1〉 大学全体

- 1) 大学運営連絡協議会でオープンキャンパス・入試戦略と学生確保の見通しについて定期的な検証を継続し、入試広報の充実と制度改革に繋げる。
- 2) アドミッション・ポリシーに照らし合わせ、先進的な入試方式を取り入れ、入試制度改革を継続し、学生を確保していく。

〈2〉 医学部

- 1) 一般入学試験(B方式)では、外部英語資格・検定試験として TOEFL・IELTS・英検の成績を活用したことによって、学力試験のみならず英語においても高い能力を持つ受験者が集まり、グローバル化が進む中において国際性豊かな医師を志す学生の発掘を推し進めることができている。今後は、TOEFL・IELTS・英検に加え TEAP や GTEC といった試験の活用についても検討したい。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 2017(平成 29)年度入試より、A0 入学試験に、一般選抜の他、教員志望選抜を設けた。今後、定員増した学生の質の一層の担保に向けて、2018(平成 30)年度にはアドミッション・ポリシーに合致した受験生の確保ができる試験制度・内容を新たに検討中である。

第5章 学生の受け入れ

〈4〉 医療看護学部

- 1) ホームページ、進学相談会、模擬講義、オープンキャンパスを通して、積極的な広報活動の展開を継続する。オンデマンド広報として、メールマガジンも積極的に活用していく。学生広報委員による学生通信や母校訪問活動等もより充実させ、志願者の増加を図る。
- 2) 今後も入試方式を適宜見直しながら志願者数の増加及び優秀かつ多様な学生の受入促進に努める。また、入試方式別の入学者の学業成績の分析等により、教育課程や入試方法等の改善に資する。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 全国各都道府県から幅広く出願されるよう次のような広報・学生募集活動を継続する。ホームページのタイムリーな更新(行事、学生の様子等の紹介)、学生による母校訪問、教職員による高校訪問、業者主催の進学説明会への参加、資料請求のあった高校の進路指導教員あてのDM 発送等を通じて本学部の魅力を広報していく。

〈6〉 国際教養学部

- 1) ホームページ、各種広報媒体、進学相談会、オープンキャンパスを通して、更に積極的な広報活動を展開する。また、入学者の出身高校を中心に、在学生を交えた広報を検討する。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 学生募集要項やホームページにてアドミッション・ポリシーを広報することにより、本学の基本理念及び求める学生像を受験生に周知するとともに、進学説明会のほか、ホームページの拡充やシンポジウム等の開催により、本研究科における教育研究に係る情報を積極的に発信していく。また、口述試験による本学入学にあたっての目的意識の確認、受験出願前の研究指導教員との研究内容に関する確認を継続して実施し、適切な大学院生受け入れと円滑な研究指導を促進する。
- 2) 新研究棟完成に向け、更なる研究基盤の強化が必要になることから、研究力向上・研究基盤の強化を図り、質の高い大学院生の確保するため、また、近年の入学者数増加の実態に対応するため、医学専攻(博士課程)の入学定員増について検討していく。
- 3) 連携大学院制度を実施している国立がん研究センター、国立国際医療研究センター及び国立病院機構相模原病院に対して、本学の基礎系研究分野の概要を積極的に発信し、各機関の臨床学域と本学の基礎学域の交流を図り、Physician-Scientist の育成を促進する。
- 4) 段階的に進めている大学院シラバスの日英併記について今後も進めていくことで、大学院の国際化に向けた積極的な取り組みを行い、外国人留学生が学びやすい環境を更に整えていく。
- 5) 外国人大学院生の入学者を増やし、更なる国際化を図るべく、日本に来日せずとも大学院を受験することができる外国在住外国人入試を積極的に広報し、外国人留学生の受け入れを促進していく。
- 6) 定員増により多様な背景を持った学生のキャリア志向に対応するべく、新規開講科目を充実させ、学生が選択できる授業科目の幅を広げている。例えば、医療マネジメント人材を育成する目的として医師向けの経営学コース「医療経営学入門」や理化学研究所との連携による臨床オミックス科学に関する講義がある。
- 7) 日本語能力の出願要件を下げたことで、入学後に日本語での円滑にコミュニケーションを行い、正しく授業を理解することができるよう、外国人留学生を対象として新たに「日本語集中プログラム」を開講し、外国人留学生の日本語能力の向上を図っている。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

- 1) ホームページの内容充実と定期的な更新により、受験生へ積極的に情報を発信していく。夏期説明会の開催を継続し、個々の研究テーマの相談に応じ、研究テーマのミスマッチを防ぐようにする。

②改善すべき事項

〈2〉 医学部

- 1) 学生募集要項の出願資格を明確に記載し、志願者より出願資格に関する相談があった場合は、志願者の経歴等を詳しくヒアリングのうえ、出願資格の確認を行っていく。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 外国語が得意な学生には、英語検定試験などの外部検定試験結果を提出するとそれを評価する仕組みを作るなど、能力のある学生が出願しやすく評価される仕組みを作る。

〈6〉 国際教養学部

- 1) 外国人留学生向けに更に積極的な広報活動を進め、外国人留学生を受け入れやすいように、4学期制、秋入学の導入を検討していく。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 外国人留学生を更に受け入れるため、HPのリニューアルや外国語併記のパンフレット作成等により、積極的な情報発信を行う。

第5章 学生の受け入れ

4. 根拠資料

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料5-1	総務5-1	順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」 「修学上の情報」 「アドミッション・ポリシー」 http://www.juntendo.ac.jp/about/information/styudy.html
資料5-2	総務5-2	順天堂大学総合パンフレット(既出 資料1-2)
資料5-3	医5-1	2017(平成29)年度 医学部学生募集要項
資料5-4	ス5-1	2017(平成29)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項
資料5-5	医看5-1	2017(平成29)年度 医療看護学部学生募集要項
資料5-6	保看5-1	2017(平成29)年度 保健看護学部学生募集要項
資料5-7	国教5-1	2017(平成29)年度 国際教養学部学生募集要項
資料5-8	院医5-1	2017(平成29)年度 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項
資料5-9	院医5-2	2017(平成29)年度 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項
資料5-10	院ス5-1	2017(平成29)年度 大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項
資料5-11	院看5-1	2017(平成29)年度 大学院医療看護学研究科学生募集要項
資料5-12	医5-2	2016年度 進学説明会・オープンキャンパス日程
資料5-13	医5-3	学費減免制度・奨学金制度
資料5-14	ス5-2	広報・学生募集活動状況
資料5-15	ス5-3	順天堂大学スポーツ健康科学部入学試験委員会規程
資料5-16	ス5-4	平成28年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧(既出 資料2-4)
資料5-17	国教5-2	平成28年度 進学説明会・説明会案内
資料5-18	国教5-3	平成28年度 国際教養学部オープンキャンパス・学部説明会①
資料5-19	国教5-4	平成28年度 国際教養学部オープンキャンパス・学部説明会②
資料5-20	国教5-5	2015(平成27)年度 国際教養学部学生募集要項
資料5-21	国教5-6	2016(平成28)年度 国際教養学部学生募集要項
資料5-22	院医5-3	大学院医学研究科博士課程連携大学院(既出 資料4-3-16)
資料5-23	総務5-3	大学運営連絡協議会議案シート(平成28年7月12日)
資料5-24	医5-4	医学部入試委員会議事録(平成28年4月26日)
資料5-25	ス5-5	スポーツ健康科学部 入試委員会議事録(平成28年6月8日)
資料5-26	医看5-2	第1回 平成28年度入試委員会議事録
資料5-27	保看5-2	保健看護学部 第1回 入試委員会記録(平成28年5月2日)
資料5-28	保看5-3	保健看護学部 第2回 入試委員会記録(平成28年5月17日)
資料5-29	国教5-7	国際教養学部入試委員会議事録(平成28年5月)
資料5-30	院医5-4	大学院医学研究科委員会議事録(平成28年5月)
資料5-31	院ス5-2	スポーツ健康科学研究科 入試委員会議事録(平成28年7月8日)

第5章 学生の受け入れ

根拠資料No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
資料5-32	院看5-2	医療看護学研究科委員会議事録（平成28年4月）
資料5-33	ス5-6	スポーツ健康科学部入学試験 志願者情報
資料5-34	国教5-8	平成27・28年度 入試結果
資料5-35	国教5-9	平成27年度 国際教養学部広報実績